

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	65	—	事業名	国民健康保険・趣旨普及事業	担当部課	福祉部保険医療課
------	----	---	-----	---------------	------	----------

基本情報	総合計画	基本方針	-		会計	2	国民健康保険特別会計
		分野別項目	-		款	1	総務費
		施策の進め方	-		項	4	趣旨普及費
	まちづくり 行程表	フラッグ	-		目	1	趣旨普及費
		政策分類	-		大事業	2	趣旨普及事業
	その他(関係法令、要綱等)		国民健康保険法				
事業開始の背景、経緯等		国民健康保険の制度改革について、国保被保険者にわかりやすく伝えるためにパンフレット等の媒体を活用して周知する事業を実施する。					

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 国保制度が抱える課題や国保制度改革の内容を「わかりやすく」被保険者に周知するためにパンフレット等を作成し、広報する。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民(国保被保険者)					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 国保制度の課題及び国保制度改革について理解できるようにする。					
	事業を構成する事務事業	① 趣旨普及事業	改善・見直し	④			
				⑤			
				⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	事業費(A)	千円	決算	予算			336	1,147
決算						159	671	
人件費(B)	千円	決算			34,535	1,910		
総コスト(A)+(B)	千円	決算			34,694	2,581		

成果推移	成果指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	A パンフレットの作成・配布	回	目標	1	2	1	2	3
			実績	1	2	1	2	
	B 広報紙への掲載	回	目標	1	1	1	1	3
			実績	1	1	1	3	
	C		目標					
実績								
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 国保制度について解説するパンフレットを作成・購入し、被保険者世帯全体に配布することで理解を促す。								
B 国保の現状と課題、制度改革について広報に特集記事を掲載することで、市民全体への周知を図る								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 平成30年度の国保制度改革の内容について広報を充実させる必要がある。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 国保の現状と課題、今後必要な取組について理解してもらうために、広報の特集記事を掲載するにあたりイラスト等の活用により、わかりやすくイメージを伝えることができた。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 市民に対して、国保制度改革の改正内容を市民にわかりやすく説明する手法を検討する。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 平成30年度の国保制度改革に伴う改正内容のわかりやすい周知の充実を図る。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 納税通知書や高齢受給者証の送付時に制度改革内容も含めてパンフレットを作成し、送付する。

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		国民健康保険・趣旨普及事業										
番号	①	事務事業名	趣旨普及事業		款	1	項	4	目	1	大事業	2	中事業	1
事務事業の期間	事務事業開始年度		-		終了（予定）年度	-								

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	保険証一斉更新及び高齢受給者証一斉更新（70才以上）に合わせて、制度案内（ジェネリック普及促進シール一体型）のパンフレットを送付。広報紙に現状・課題・今後の取組に関する特集記事を掲載。
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	国保の現状・課題・今後の取組についての理解を深め、自分たちの問題と考えるようにする。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
事業費	千円	予算			336	1,147	234
		決算			159	671	

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
パンフレットの作成・配布	回	目標	1	2	1	2	3
		実績	1	2	1	2	
広報紙への掲載	回	目標	1	1	1	1	3
		実績	1	1	1	3	

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

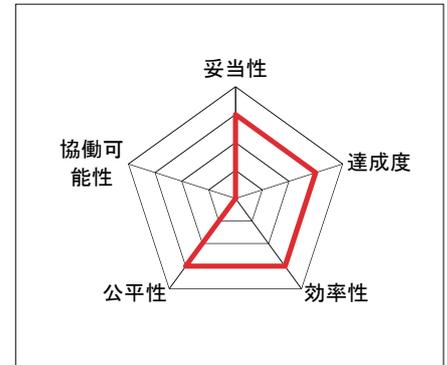
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
平成30年度の国保制度改革に伴う改正内容について広報を充実させる必要がある。

## 5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
国保制度は毎年のように制度改正がある。パンフレットを単一の目的で別々に作成・購入し送付するのではなく、制度全体を俯瞰して理解できるように複合的な内容のパンフレットを作成し送付する。
(何をどのような状態に改善したのか)
保険証の一斉更新時に同封したパンフレットについては、国保制度全般・制度改正内容を網羅したものを作成・配布した。

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	-



### 【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
国保の現状と課題、今後必要な取組について理解してもらうために、広報の特集記事を掲載するにあたりイラスト・図表の活用により、わかりやすくメッセージを伝えることができた。

### 【ウィークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
国保のしおりやパンフレットは全て網羅することを前提に作成しており、逆にわかりにくいものとなっていたため、窓口での説明に必要な内容に絞り込む。

## 7. 今後の方向性

**改善・見直し**

### 【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
国保制度改革に伴う改正内容について広報紙に掲載し、国保被保険者だけでなく、市民全体に周知し、考えてもらえるようにする。 納税通知書の送付時や窓口での加入手続き時など、国保被保険者に周知できる機会をとらえて、国保制度改革に伴う改正内容を「国保のしおり」及びパンフレットで説明する。